

船橋市立七林中学校

グランドデザイン



《学校教育目標》

『知・徳・体の調和を図り、
心身共に健康で人間性豊かな生徒の育成』

目指す生徒像

- ・自ら学び、深く考える生徒（自学）
- ・心豊かで思いやりのある生徒（友愛）
- ・健康でたくましい生徒（活力）

○教育基本法
・第一章（教育の目的及び理念）
○学習指導要領
○県学校教育指導の方針
・ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、千葉の子供を育てる
・ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる
・ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える
・ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る

○船橋市教育大綱
・多様性と人権への理解を深める教育の推進
・複雑化する困難から子供を守り、安心して学ぶことができる環境の整備
・主権者教育の推進
・環境に関する学びへの場の提供
・「ふるさと船橋」への思いの育み
・生涯学習への意識を育む
○船橋の教育2020
-船橋市教育基本計画-
・生涯学習の推進を図る
・家庭と地域の教育力向上を図る
・学ぶ意欲を育て確かな学力の向上を図る
・豊かな心を育成し社会性を高める
・健やかな体づくりを進め体力を発揮できる環境をつくる
・ニーズに応じた支援の充実を図る
・質の高い教育環境を整備する

校訓

- 礼儀
（礼儀正しく節度ある学校）
- 自学
（自ら問題を求め探求する学校）
- 勤労
（勤労と責任を重んじる学校）

《研究主題》

「主体的に『**考動**』し、互いに高め合う生徒の育成
～情報活用能力を生かした、主体的・対話的で深い学びを通して～」

教育DX

～未来を学び、学びで未来をつくる～

Approach 1 情報活用能力ベースの授業展開

5つの学習プロセス	①課題の設定	②情報の収集	③整理・分析	④まとめ・表現	⑤振り返り・改善
13のキーワード	発見	収集	整理・処理 比較・統計	形成・表現 発信・創造 伝達	振り返り 改善

Approach 2 授業改善

授業改善

～ミニ探究を組み込んだ授業展開～

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

『どのように学ぶか』

『各教科を通じて得た力が将来にもつながるように』

Approach 3 教科横断的な学習単元開発

教科横断的な学習の単元開発

～総合的な学習の時間～

探究テーマ：【私から広がる未来プロジェクト】

1年生 『自分の未来は自分で決める』

2年生 『小学生の未来を守る
～デジタル時代を生き抜く力～』

3年生 『船橋市の未来をデザインしよう』

学校経営重点「5つの柱」

学ぶ意欲と学力向上

- ① 生徒が自ら考え、対話しながら考えを深めていく充実した学びの実現に向けた授業改善に取り組む。
- ② 生徒一人一人の学習状況に応じた補習の機会を増やし、基礎・基本の徹底を図る。
- ③ ICTの活用をはじめ、学習環境を整え、生徒が自分の考えを表現できる場を増やす。

健康と体力の向上

- ① 食育や保健教育を充実させ、自ら生活改善することができる生徒の育成を図る。
- ② 部活動や運動を通して、心身ともに健康でたくましい生徒の育成を図る。

コミュニケーション能力

- ① 「挨拶」「返事」「説明」が積極的にできる生徒の育成を図る。
- ② 保護者や地域の方々と関わる生徒の活動を増やす。
- ③ 全教育課程においてコミュニケーション能力を高める取組を充実させる。

生徒指導と心の教育

- ① 「挨拶」「時間を守る」「正しい言動・服装」など、基本的生活習慣の確立に努める。
- ② 生徒の心身の発達段階や特性に即した生徒理解に努めるとともに、生徒に寄り添った支援・指導を展開する。
- ③ 道徳科を中心に道徳教育を充実させ、相手の思いや心や規範意識を育てる。
- ④ 全教育課程において生徒活動の場面を増やし、生徒のリーダー性と自己肯定感・自尊感情を高める。
- ⑤ 不登校や特別な支援を必要とする生徒に対する支援・指導体制を充実させる。

モラルアップと不祥事

- ① 教職員の不祥事、ハラスメントを根絶する。
- ② 教職員の危機管理意識を向上させる。
- ③ 教職員の協力体制を構築するとともに、風通しの良い職場環境を整備する。
- ④ 保護者との活動や地域活動に積極的に関わり、学校への協力体制を構築する。